

年度 2007 学期 前期	曜日・校時 金 1	必修選択	必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	英語コミュニケーションⅡ English Communication II			
対象年次 1年次	講義形態 演習	教室		
対象学生(クラス等) M12	科目分類 外国語科目 (英語)			
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員:西原 俊明 /Eメールアドレス:t-nishi@nagasaki-u.ac.jp /研究室:教育学部6階 /オフィスアワー:火曜日 13:00-14:00, それ以外は only by appointment				
担当教員(オムニバス科目等)				
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: 基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、既習の語彙を用いた表現力の幅をひろげるため、Plain English に関する講義を併せて行い、表現力向上を目指す。また、リスニング教材として医学英語にふれる。 授業方法: 授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養う Plain English による表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させた authentic な教材・題材を用いた訓練を行う。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、 ^h アワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。 授業到達目標: 授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。				
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 英語の獲得をスキルの獲得ととらえて、スキル獲得のための訓練を様々な手法を用いて行う。 第1回 オリエンテーション 第2回 英語のリズム(1)、速読(phrase reading)と ^h アワーク(1)、医者と患者の会話(1) 第3回 Voice Aerobics, 医者と患者の会話(2) 第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1)、医者と患者の会話(3) 第5回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2)、医者と患者の会話(4) 第6階 弱く発音される音、医者と患者の会話(5) 第7回 インフォメーションギャップによる ^h アワーク(1)、映画による聞き取り(1)、 第8回 聞こえなくなる音、医者と患者の会話(5) 第9回 インフォメーションギャップによる ^h アワーク(2)、医者と患者の会話(6) 第10回 グループによるディスカッション(1)、映画による聞き取り(3) 第11回 なくなる音、医者と患者の会話(7) 第12回 ひとつになる音、インフォメーションギャップによる ^h アワーク(3) 第13回 つながる音、映画による聞き取り(4)、医者と患者の会話(8) 第14回 Review 第15回 まとめのテスト				
キーワード				
教科書・教材・参考書	テキスト:English for Medicine(金星堂) プリント教材			
成績評価の方法・基準等	期末試験(50%)、小テスト(40%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。 小テストは医学英語表現を対象として毎回行う。			
受講要件(履修条件)				
本科目の位置づけ / 学習・教育目標	英語コミュニケーションの基礎的能力を身につけると同時に、学部教育への橋渡しとしての医学英語にふれる。			
備考(準備学習等)				